

昭和三十年七月十五日印刷  
昭和三十年七月二十日發行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日發行)

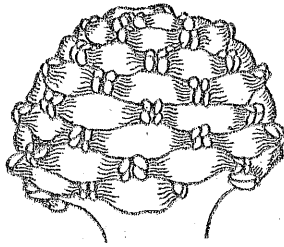
第 30 卷 第 7 号

Vol. 30 No. 7

# 植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 30 年 7 月 JULY 1955



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

## 目 次

原	寛： 欧米にある東亜植物基準標本の検討 (4) .....	(193)
館	岡 亜 緒： 再びイネ科における種子澱粉粒の分類学的意味について .....	(199)
梅	崎 勇： 志摩半島海産藍藻類 (2) .....	(209)
本	郷 次 雄： 日本産きのこ類の研究 (7) .....	(215)
雑 録		

松山庫三： ミズイチゴツナギに就て (208)——津山 尚： ツキヌキサイコの新産地 (214)——朝比奈泰彦： 青ヶ島の地衣 (附 御蔵島の地衣) (222)

## Contents

Hiroshi HARA:	Critical notes on some type specimens of East-Asiatic plants in foreign herbaria (4) .....	(193)
Tuguo TATEOKA:	Further studies on starch grains of seeds in Poaceae from the viewpoint of systematics. ....	(199)
Isamu UMEZAKI:	Marine Cyanophyceae from the Shima Peninsula (2) ...	(209)
Tsuguo HONGO:	Notes on Japanese larger Fungi (7) .....	(215)

### Miscellaneous

Kôzô HIYAMA: On *Poa uda* Honda (208)——Takasi TUYAMA: New locality of *Bupleurum rotundifolium* L. (214)——Yasuhiko ASAHINA: Lichens collected in Aogashima and Mikurazima (222)

[表紙カットの説明] ビナンカズラの若い雄蕊群。若い雄花を開くとカットの様な雄蕊群が現われる。1 雄蕊の 2 葯室は広い葯隔で遠くへ離されていて、反つてとなりの雄蕊の一方の葯室と接している。エンジ色の多肉な葯隔とその両端につく白い葯とがくつきりした対照を示して、蠟細工の様な美しさがある。(原)  
A young androecium of *Kadsura japonica* Danal (H. Hara).

## 代 金 払 込

代金切れの方は一ケ年代金（雑誌 12 回分）768 円（但し送料を含む概算）を  
為替又は振替で東京都目黒区上目黒 8 の 500 津村研究所（振替東京 1680）宛  
御送り下さい。都合で 2 回分割払いでも差支えありません。

## 投 稿 規 定

1. 論文は簡潔に書くこと。
2. 論文の脚註には著者の勤務先及びその英訳を附記すること。
3. 本論文、雑録共に著者名にはローマ字綴り、題名には英訳を付けること。
4. 和文原稿は平がな交り、植物和名は片かなを用い、成る可く 400 字詰原稿用紙に横書きのこと。欧文原稿は“一行あきに”タイプライトすること。
5. 和文論文には簡単な欧文摘要を付けること。
6. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明は 2 部作製し 1 部は容易に剝がし得るよう貼布しておくこと。原図は刷上りで頁幅又は横に 10 字分以上のあきが必要である。なお原図の裏に著者名、論文名を記入のこと。
7. 登載順序、体裁は編集部にお任せのこと。活字指定も編集部でしますから特に御希望の個所があれば鉛筆で記入のこと。
8. 本論文に限り別刷 50 部を進呈。それ以上は実費を著者で負担のこと。
  - a. 希望別刷部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けません。
  - b. 雑録論文の別刷は 1 頁以上のもので実費著者負担の場合に限り作成します。
  - c. 著者の負担する別刷代金は印刷所から直接請求しますから折返し印刷所へ御送金下さい。着金後別刷を郵送します。
9. 送稿及び編集関係の通信は東京都文京区本富士町東京大学医学部薬学科生薬学教室植物分類生薬資源研究会、藤田路一宛のこと。

## 編 集 員

### Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Y. ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

藤田路一 (M. FUJITA)	原 寛 (H. HARA)
久内清孝 (K. HISAUCHI)	木村陽二郎 (Y. KIMURA)
小林義雄 (Y. KOBAYASI)	前川文夫 (F. MAEKAWA)
佐々木一郎 (I. SASAKI)	津山 尚 (T. TUYAMA)

All communications to be addressed to the Editor  
Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.  
Pharmaceutical Institute, Faculty of Medicine, University of Tokyo,  
Hongo, Tokyo, Japan.

昭和三十年七月十五日印刷  
昭和三十年七月二十日発行  
昭和三十年四月十三日  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日発行)

「植物研究雑誌」第三十卷 第七号

定価六〇円

## 謹 告

かねて予告しました本誌索引(第11巻～第25巻)は遅れて御迷惑を  
かけましたが第30巻臨時増刊(昭和30年4月5日発行)として出版に  
なりました。これは上記の15巻分の学名と和名の詳しい索引で、本誌の  
整理や利用上に大変役立つと存じます。

### 植物研究雑誌索引(第11巻～第25巻)

Index of the Journal of Japanese Botany

vol.11 (1935) — 25 (1950)

総頁 375 頁 定価 600 円 送料 20 円

申込先 津村研究所

東京都目黒区上目黒8の500

振替東京 1680

昭和30年7月15日印刷

昭和30年7月20日発行

編輯兼発行者 佐々木一郎

印刷者 小山恵市

東京都新宿区筑土八幡町8

印刷所 千代田出版印刷社

東京都新宿区筑土八幡町8

発行所 植物分類・生薬資源研究会

東京都文京区本富士町

東京大学医学部薬学科生薬学教室

津村研究所

東京都目黒区上目黒8の500

(振替東京1680)

定価 60 円

不許複製